

建築実習「一坪ハウス」

本校建築科3学年の「建築実習」では、教室で勉強した内容を体験的に学ぶための課題として、一坪ハウスの組み立てに取り組みます。将来、現場監督や建築大工に就く生徒の勉強です。

教科書に書かれている木造軸組み工法の部材名称を知ることができ、さらに組み立て手順を勉強することができます。さらに危険予知にも繋がります。

今回の木造軸組み工法は、本来ならば筋違いという部材を使いますが、通し貫で固める工法で作りました。



建築実習「施工：鉄骨建て方」

本校では、実務施工系の実習で【鉄骨建て方】を実施しています。
建物の骨組み（構造）の種類の一つに鉄骨構造があります。その柱・梁等からなる山形ラーメン形式の小屋の組立（建て方）に取り組んでいます。

工業高校では、教室で勉強した授業内容を実験・実習で理解を深めていきます。



大梁①をクレーンで取り付け



吊りこみ用のスリングベルト準備



大梁②をクレーンで取り付け



小梁の取り付け（ボルト締め）



大梁ボルト締め



全 景

建築実習「電気配線」

本校では、快適な生活環境について学ぶ「建築計画」に関する設備系の実習として電気配線を行っています。

工業高校では、教室で勉強した授業内容を実験・実習で理解を深めていきます。

- ① 電気配線図の記号・名称を学んだ後、工具の使い方、ケーブルの加工の仕方、器具の取り付け方を学びます。

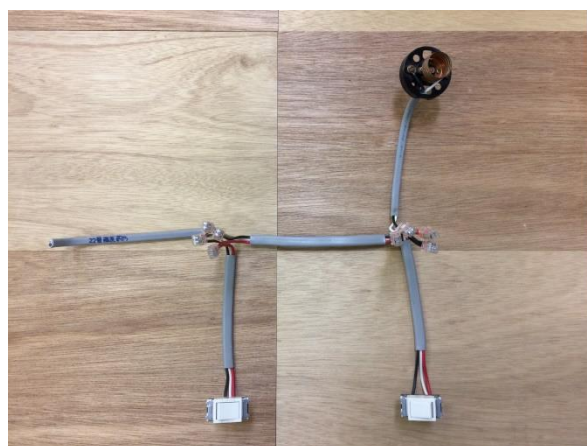


工具・器具・ケーブル



- ② コンセント・スイッチ・電灯からなる基本的な電気配線に取り組みます。電気配線図を描いた後、実際にその電気配線を製作します。

- ③ 電灯のオン・オフを2か所から行う3路スイッチ配線と呼ばれる電気配線に取り組みます。②と同様に電気配線図を描いた後、実際にその電気配線を製作します。



3路スイッチ配線（課題2）

建築実習「内装」

本校建築科では、3学年の建築実習において、2学年で学んだ建築計画の講義・インテリア模型実習を踏まえて、内装工事を下地から体験することに取り組んでいます。

工業高校では、教室で学んだ内容について体験を通じて理解を深めていきます。



木下地取り付け



石膏ボード取り付け



ジョイントテープ・パテ処理



木見切り材取り付け



クロス重ね貼り



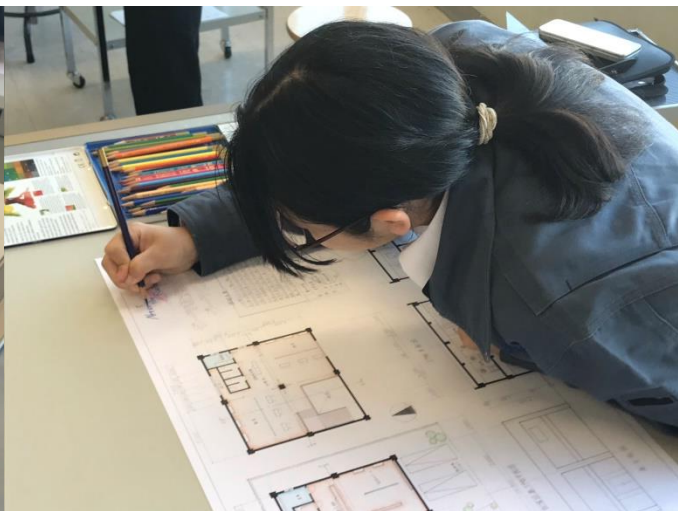
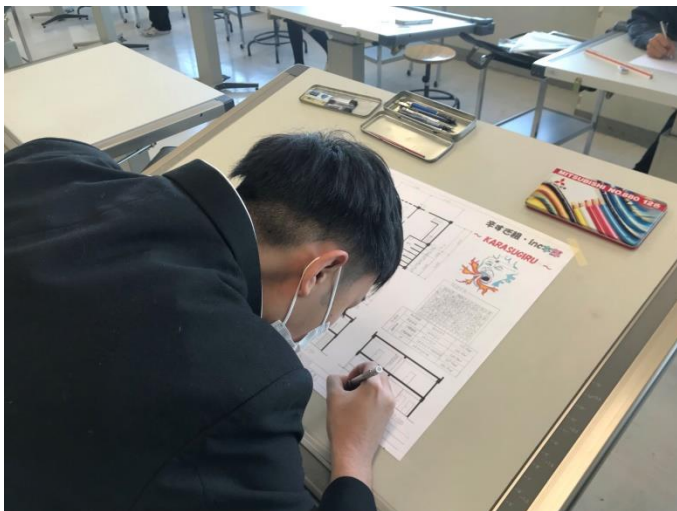
完成

改正建築士法 建築製図「卒業設計」 改正建築士法成立

本日、卒業設計の提出日です。3 学年間建築科で勉強した集大成の課題です。

今年度の卒業設計の課題は、鉄筋コンクリート構造で教室またはクラブ室のある商店を設計する課題です。仕上げ方法は、鉛筆ではなくインク仕上げで、色鉛筆での着色となります。

生徒たちは、自分たちの思いを盛り込んだ設計図を真剣に取り組んでいました。



課題研究発表会

課題研究発表会が行われました。「課題研究」とは、3年次に設置されている科目で、少人数に分かれて生徒自らテーマを決め、今まで学習してきた知識や技能を活用し、1年間を通して研究や製作を行うものです。大学の卒業研究に相当します。1年間の成果の概要をまとめた作品やレポートを作成し、パワーポイントを活用してプレゼンテーション発表を行います。

【平成30年度の発表内容】

1. 模型制作（のび太の家・空地模型、自分が住みたいマンション模型等）
2. CAD（JWW-CADによる「水辺に建つ軽井沢のセカンドハウス」）
3. 建築意匠・都市論（まちづくりフィールドワーク）
4. 施工（仕上げ、仮設・躯体）
5. 調べ学習【資格取得】（2級建築施工管理技士）
6. 設計製図（自由設計）
7. ワーキングプログラム（就業体験）

各班とも、取り組んだ内容について、製作した作品を会場に持ち込んだり、図や写真等を使ったりして、丁寧に説明していました。いずれも3年間の学習の集大成にふさわしいものでした。



